



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

*Sumitomo Trust & Banking
Co., Ltd.*



住友信託銀行 8403/T
会社説明会(参考資料)
平成17年7月8日

信託世代の、
住友信託銀行

将来情報に関するディスクレイマー（注意文言）

本資料に記載されている予想、戦略、方針、目標などのうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記載は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因となりうる主な事項は、以下のとおりであります。

不良債権等与信業務に係るリスク

債券、株式、デリバティブ商品等保有資産の価格変動等に係るリスク

資金調達に係るリスク

繰延税金資産の計上に係るリスク

信託事業の遂行に係るリスク

規制変更のリスク

事業戦略に関するリスク

上記のリスクや不確定要因となりうる主な事項については、最新の当社有価証券報告書*等で具体的に記載しております。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

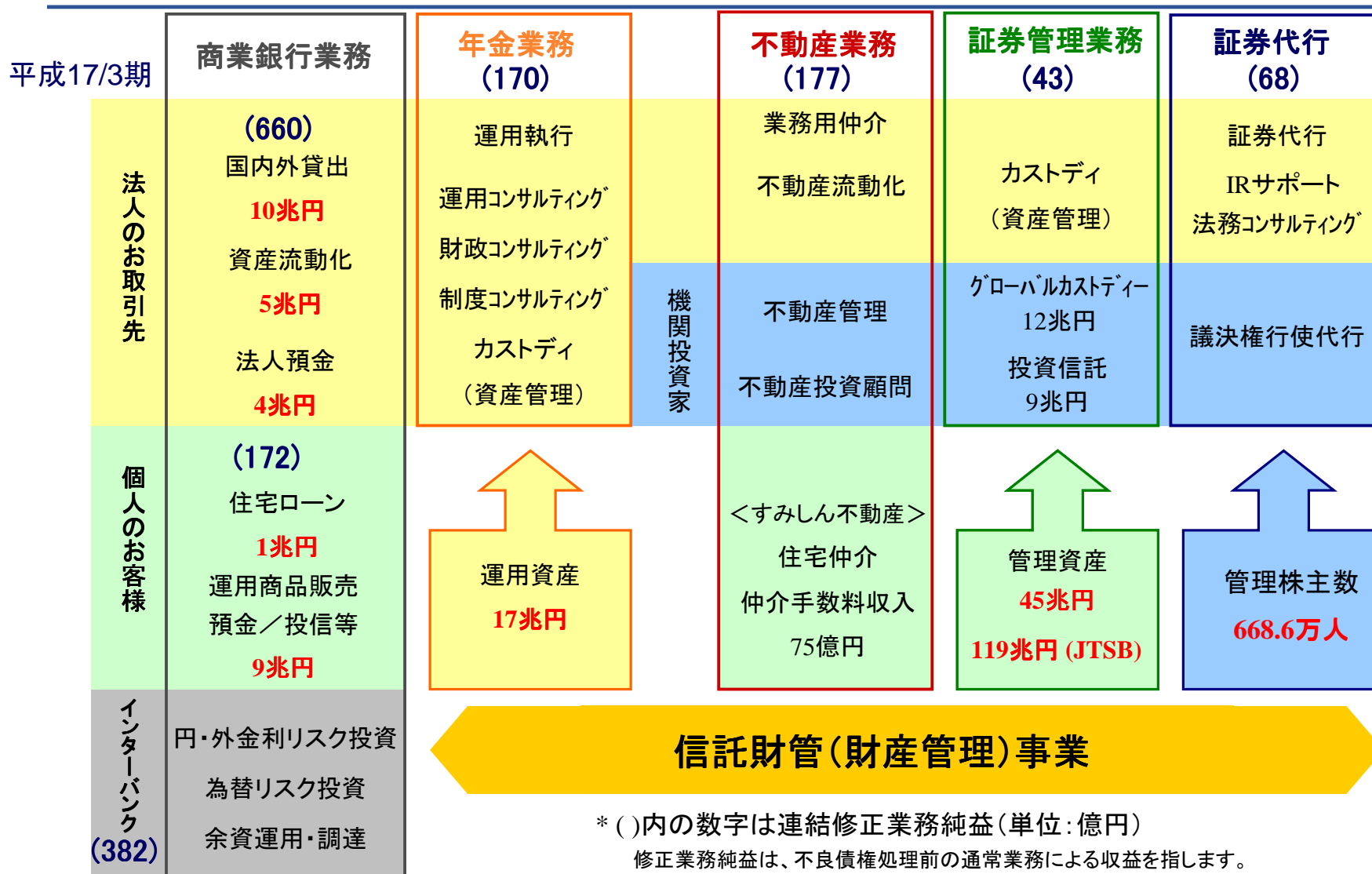
*最新の当社有価証券報告書につきましては、下記ホームページからご覧いただけます。

http://www.sumitomotrust.co.jp/IR/company/jp/kessan_html/yuuka.html

- ▶ 住友信託銀行は他の大手行とどこが違うのか？
- ▶ 住信の強みは何か？
- ▶ 住信の経営戦略は？
- ▶ 住信の株主重視の経営とは？

- ▶ 設立 1925年(大正14年)
- ▶ 資本金 2,870億円
- ▶ 発行済株式数 普通株式:16億7千万株 優先株式:無し
- ▶ 単元株数 1,000株
- ▶ 自己資本比率 12.50%
- ▶ 従業員数 4,991人
- ▶ 拠点数(5月末現在) 国内61ヶ所 海外8ヶ所
- ▶ 関係会社数 連結子会社19社 関連会社9社
- ▶ **個人株主比率 5.00%(外国人株主比率37.0%)**

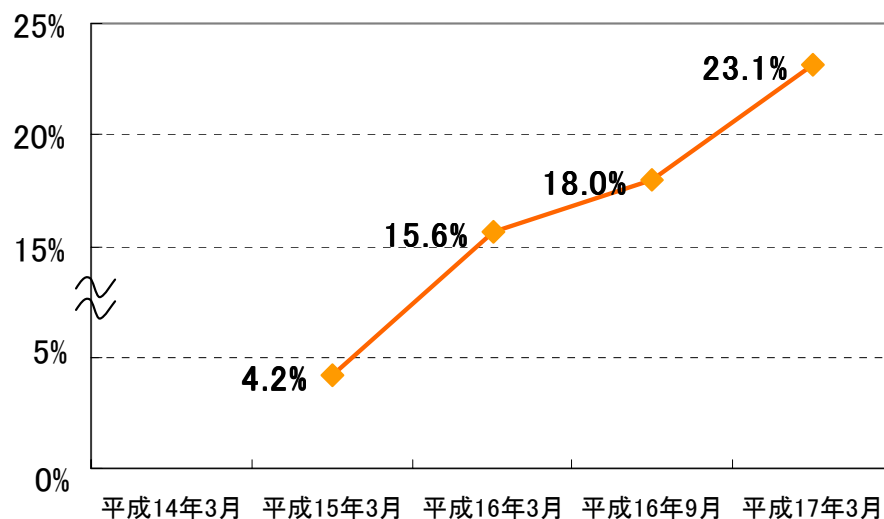
住信の業務内容



住信の年金関連業務

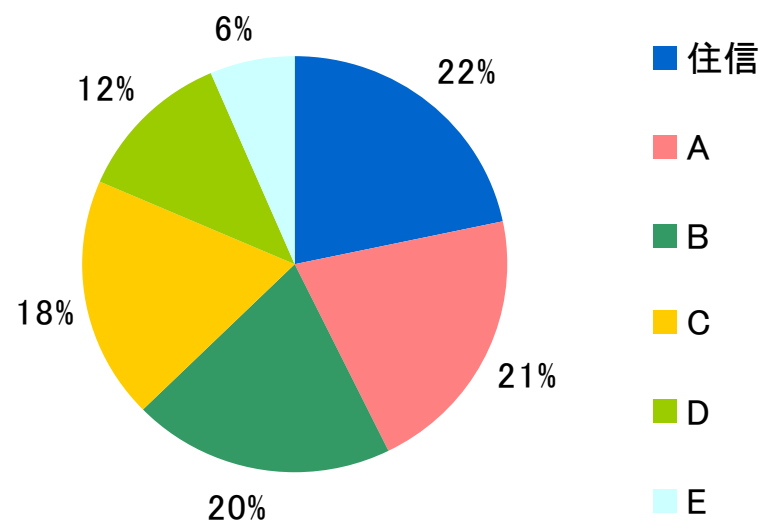
- ▶ 企業年金、公的資金、非営利法人、金融法人をお取引先に持つ総運用資産残高17兆円の国内最大級機関投資家
- ▶ 資産運用+制度設計+加入者・受給者管理を提供する企業年金の戦略的パートナー
- ▶ 確定拠出年金トップシェア運営機関

◆ DC規約承認先従業員数シェア
大手6社(*)ベース(当社推計)



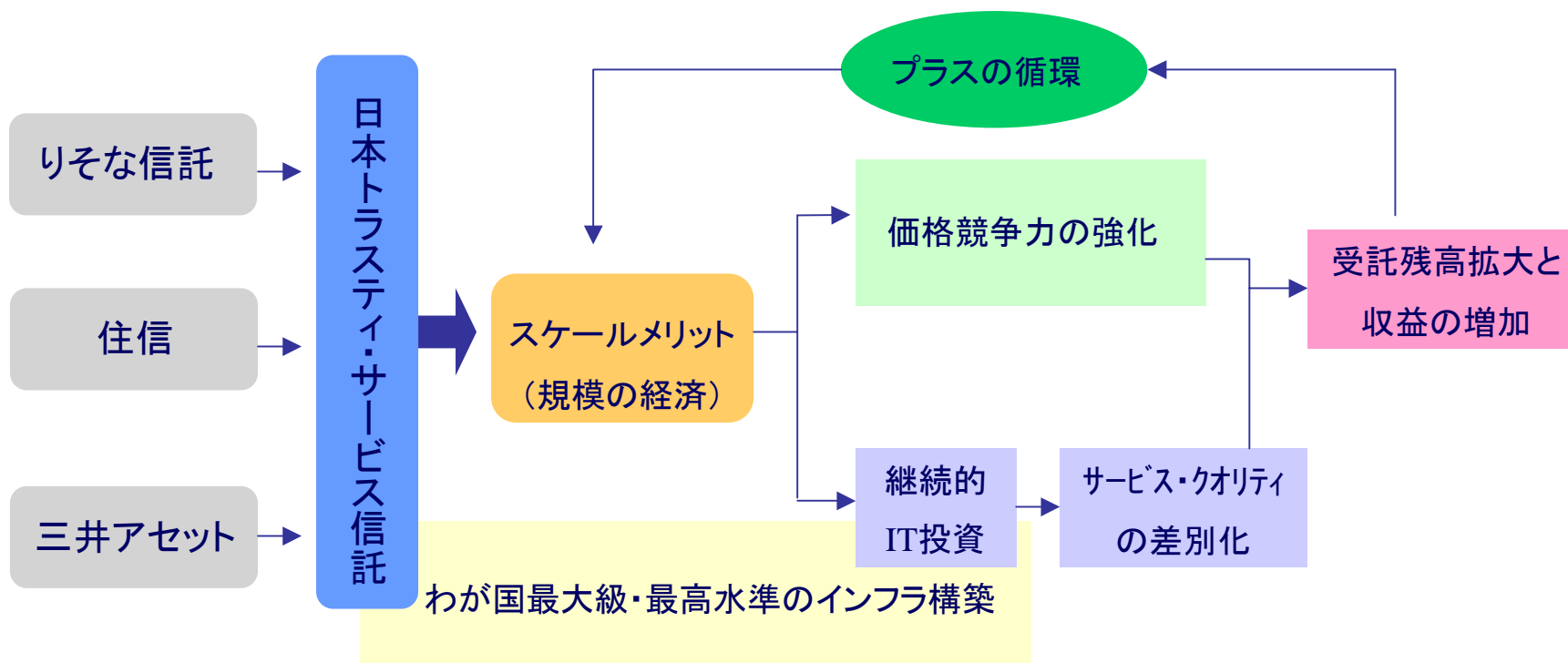
(*)野村証券G、日本生命、みずほFG、三菱東京FG(DCJ)、三井トラストHD 及び 当社

運用資産額 17兆円(平成17年3月末現在)



信託銀行大手6社ベース(当社推計)
年金信託+指定単+ ファンドトラスト

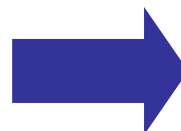
- ▶ 管理資産45兆(住信)
- ▶ 管理資産119兆(日本トラスティ・サービス信託銀行)を有する国内最大級の資産管理専門信託銀行
- ▶ 北米(ニュージャージー)、欧州(ルクセンブルグ)で12兆円を有するグローバルプレーヤー



住信の証券代行業務

名義書換代理人として以下のサービスを提供しています

- ▶ 株式の名義書換
- ▶ 株主名簿管理
- ▶ 配当金計算
- ▶ 単元未満株式の買取
- ▶ 株主総会関係書類の封入発送
- ▶ 法改正対応、株式実務対応及びIR活動などのコンサルティング

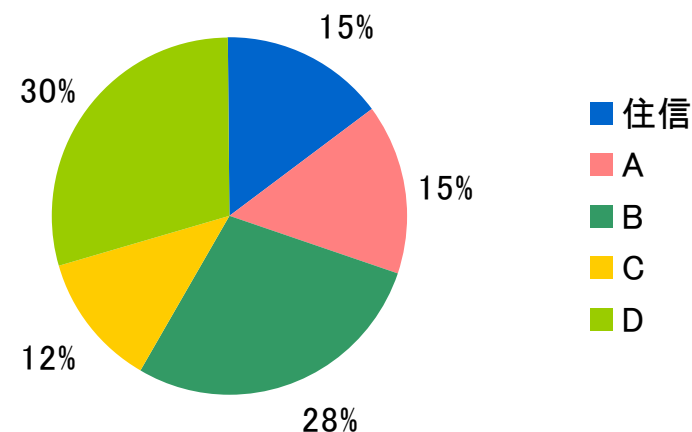


信託銀行初の「ISO9001」取得による高度な事務品質



日本証券代行(株)とのJV(ジョイントベンチャー)
日本TAソリューション(株)による効率化

証券代行受託株主数 669万人
(平成17年3月末現在)



信託銀行大手5社ベース(当社推計)



SUMITOMO
TRUST

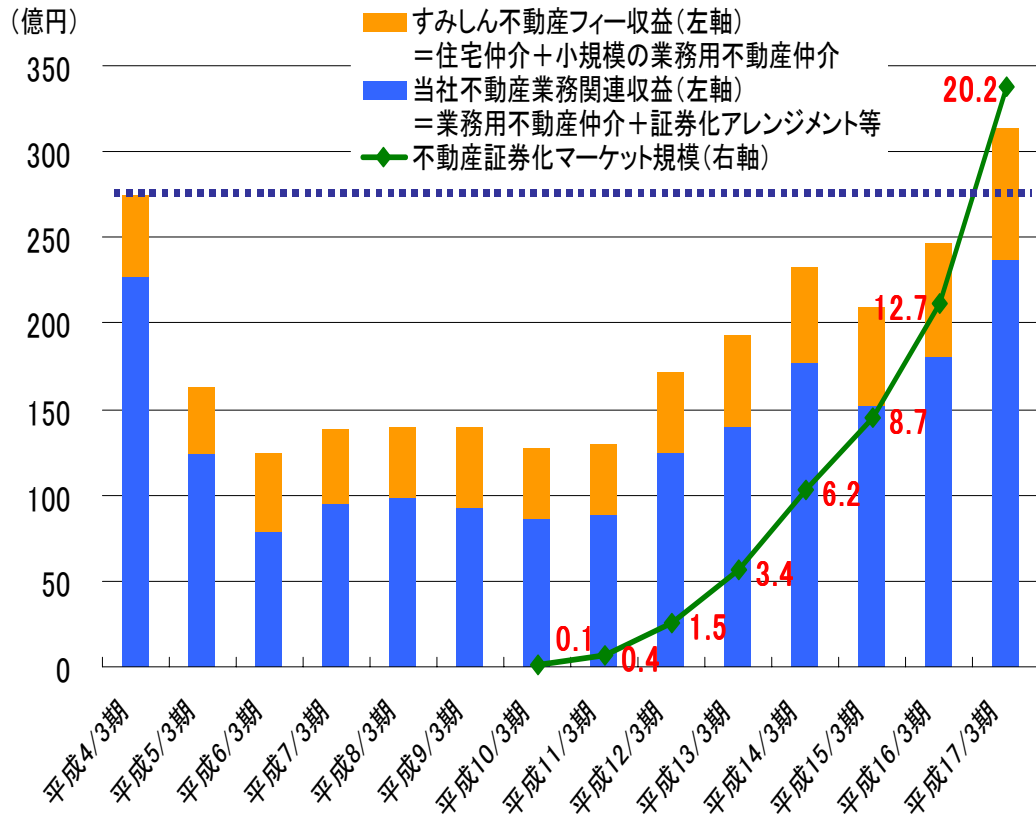
住友信託銀行

信託世代の、
住友信託銀行

住信の不動産業務

過去最高益を更新

- ▶ 不動産仲介
- ▶ 不動産投資顧問
- ▶ 不動産証券化
- ▶ 不動産管理



※ 不動産証券化マーケット(実績)出所: 国土交通省 土地白書

リート事業への参入

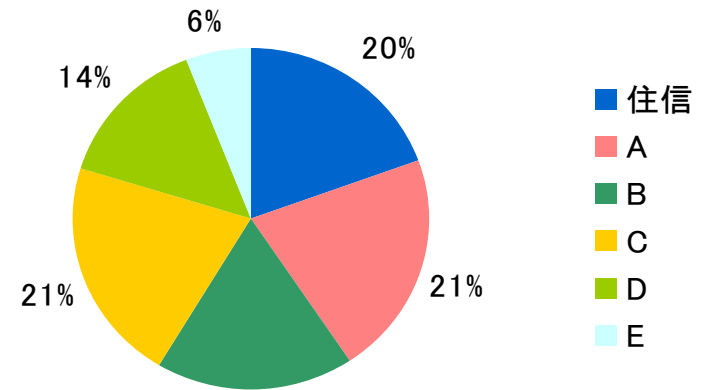


トップリート・アセットマネジメント

メーカー系不動産会社との共同事業

- 新日鉄都市開発(新日鉄グループ)
- 王子不動産(王子製紙グループ)

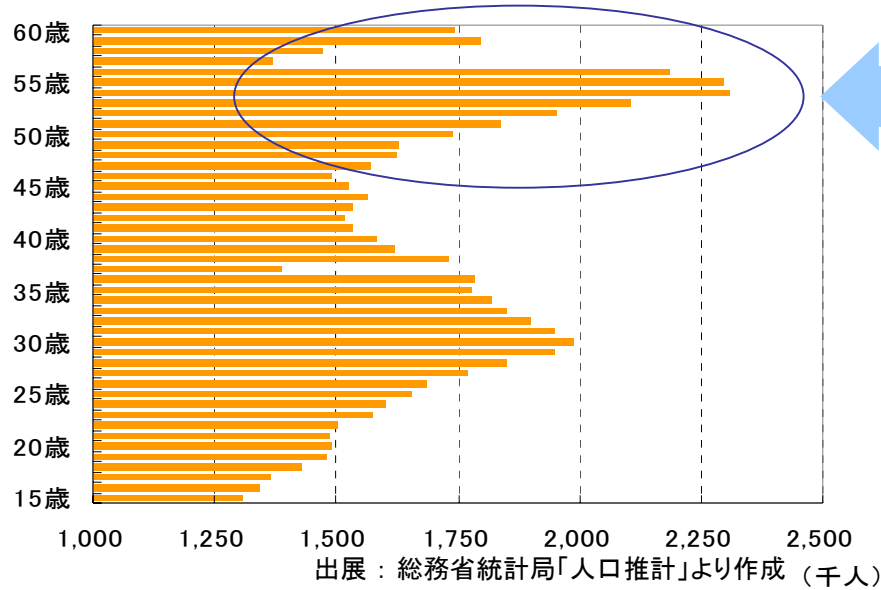
不動産収益 313億円(平成17年3月期)



信託銀行大手6社ベース(当社推計)
本体粗利益+住宅販売子会社粗利益

住信のリテール事業

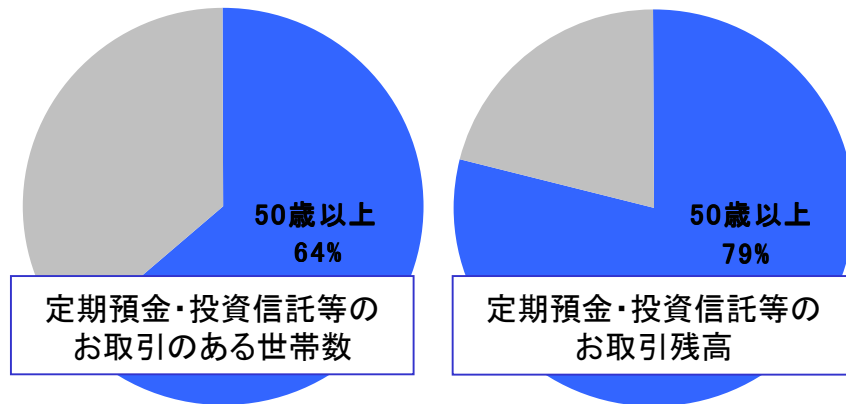
▶ 日本の人口動態(平成15年10月1日現在)



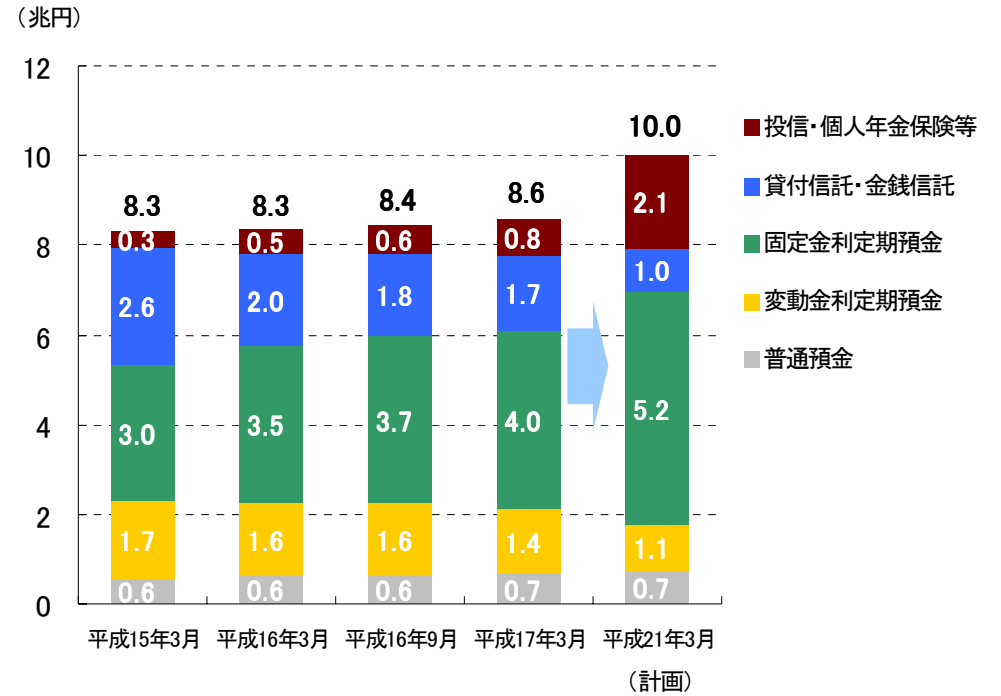
信託世代の、
住友信託銀行

信託世代
= 50歳以上の世代
(団塊の世代)

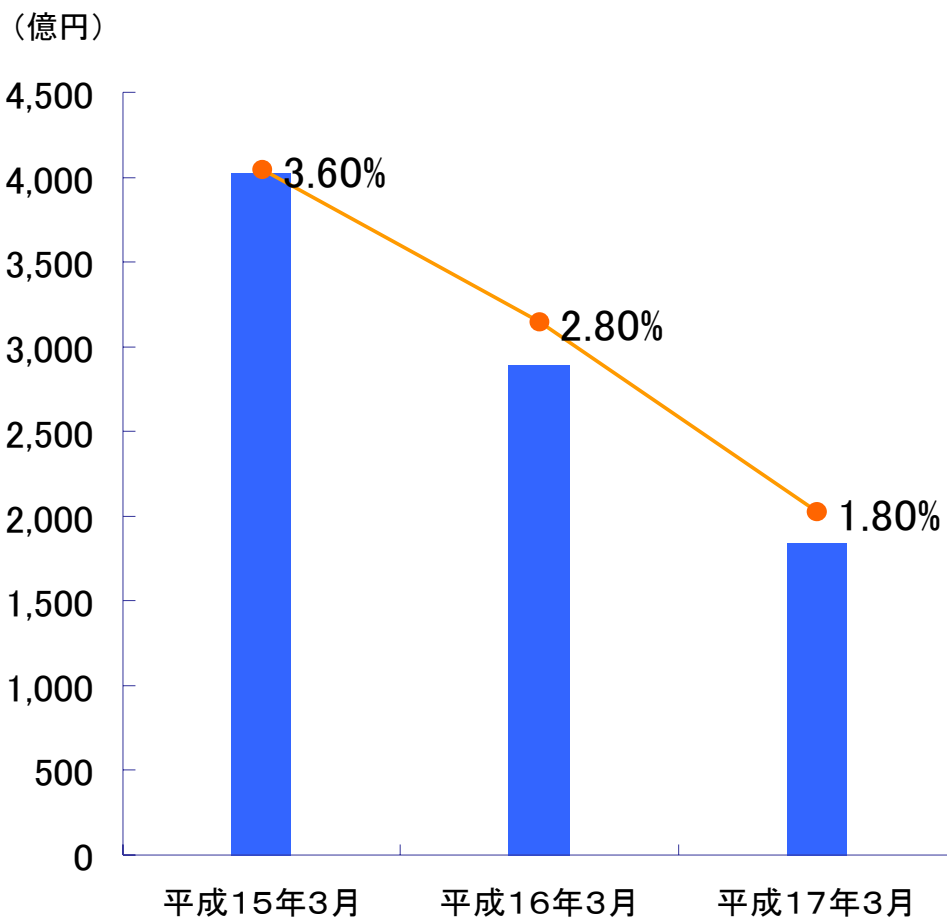
▶ 当社リテール事業のお客様の年齢別構成



▶ 預り資産ポートフォリオ(個人)の推移・計画



▶ 早くからの不良債権処理取組みにより優れた資産の質を実現



▶ 金融再生法開示債権ベース

銀行名	平成17年3月期 不良債権比率
住友信託銀行	1.8%
三菱東京FG	2.7%
みずほFG	2.2%
UFJ HD	4.1%
三井住友FG	3.3%
三井トラストHD	2.9%

出所：会社資料、日興シティグループ

本資料においては、当社との比較のため、「大手銀行」として三菱東京FG、みずほFG、UFJ HD、三井住友FG、三井トラストHDの各グループもしくはその傘下銀行についてお示ししております。

住信の強みⅡ ～資本の質と量～

- ▶ 自己資本比率は、大手銀行の中でもトップクラスの12.5%
- ▶ 平成16年1月公的資金を全額返済完了
- ▶ Tier1(中核的資本)に占める繰延税金資産の比率は9.3%

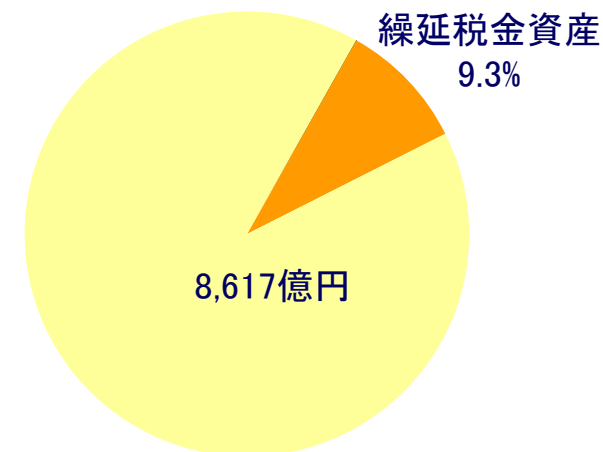
欧米の金融機関に
匹敵する質(クオリティ)

(平成17年3月末)

銀行名	自己資本比率	Tier1比率	繰延税金資産 ÷中核的資本
住友信託銀行	12.5%	7.2%	9.3%
三菱東京FG	11.8%	7.6%	9.9%
みずほFG	11.9%	6.2%	24.0%
UFJ HD	10.4%	5.3%	47.3%
三井住友FG	9.9%	5.4%	47.6%
三井トラストHD	10.3%	6.8%	35.1%

出所: 会社資料、日興シティグループ

平成17年3月末 Tier I



- ▶ Tier I 比率 7.23%
- ▶ 自己資本比率 12.50%

▶ 外資系格付け機関の財務基盤評価(財務格付・個別格付)は大手銀行中No.1

(平成17年6月24日現在)

銀行名	ムーディーズ		スタンダード&プアーズ	フィッチ	
	財務格付	長期預金	長期	個別格付	長期預金
住友信託銀行	D	A2	A	C	A-
東京三菱銀行	D-	A1	A	C/D	A-
みずほ銀行	D-	A1	A	D	A-
UFJ銀行	E+	A1	A	E	A-
三井住友銀行	E+	A1	A	D/E	A-
中央三井信託銀行	E+	Baa1	BBB+	E	BBB

出所:会社資料、ムーディーズ、スタンダード&プアーズ、フィッチ

▶ リテール事業や不動産事業の好調と

不良債権処理損失の大幅な減少などにより

平成17年3月期の連結当期純利益は過去最高の968億円



(億円)	平成16年3月期	平成17年3月期	増減
修正業務純益	1,536	1,611	75
経常利益	1,356	1,341	△ 15
当期純利益	796	968	172
不良債権処理額(△)	227	△ 0	△ 228

【修正業務純益】

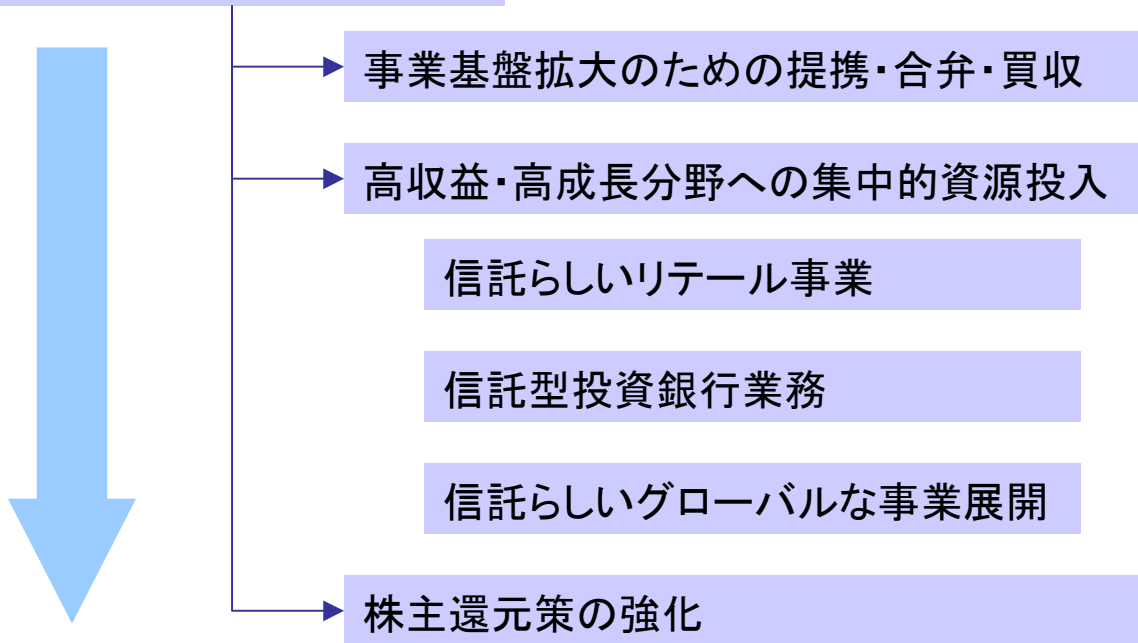
不良債権処理前の通常業務による収益を指します。

【不良債権処理額】

債権が劣化したために積み増した引当金や、貸出金が焦げつき損失額が確定した際に行う償却などに要した額を合計したものです。

▶ 攻めの経営の加速でトップクオリティ・トラストバンクを目指す

邦銀トップクラスの財務基盤



差別化戦略

「信託らしさ」の追求

- ・ 一人一人のお客様の違いに着目
- ・ 高い専門性
- ・ 長期のリレーションシップを前提としたお取引

お客様本位No.1 銀行

トップクオリティ・トラストバンク

収益の質 = 高い財管手数料比率 / 持続可能な利益の成長
資産の質 = 低い不良債権比率 / リスクに比して高い総資産利益率 / 高い分散効果
資本の質 = 低い繰延税金資産依存率 / 公的資金・潜在株式なし
顧客基盤の質 = 高いロイヤルティ / 高い取引深耕度

- ▶ 修正業務純益 2,000億円超
- ▶ 当期純利益 1,000億円超
- ▶ ROE 10%程度
- ▶ 財管手数料比率 50%以上
- ▶ 配当性向 20%以上

(億円)	平成17年3月期(実績)	平成18年3月期	平成21年3月期
修正業務純益	1,611	1,700	2,000 ⇔ 2,200
貸出関係損失(△)	△ 0	200	200
経常利益	1,341	1,400	1,800 ⇔ 2,000
当期利益	968	800	1,050 ⇔ 1,170

▶ 平成21年3月期目標は景気環境基本シナリオ(左)と強気シナリオ(右)の幅で開示

質量とも高い資本+経営の自由度&機動性



充実した資本の再配分と有効利用による
ROEやEPSの成長を確保



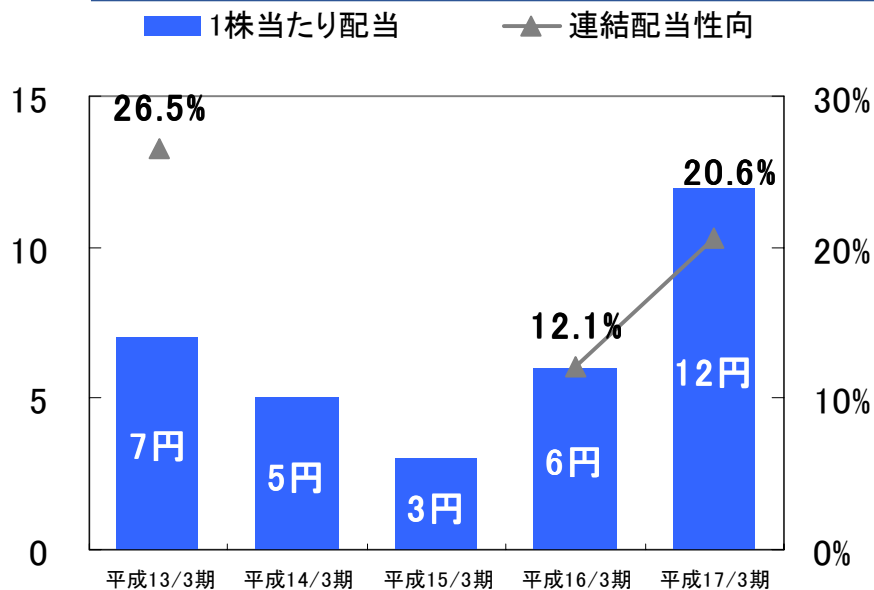
戦略的投資

- ▶ 本業収益の持続的成長
- ▶ 顧客基盤・事業基盤拡大のための投資
- ▶ 収益性を高めるための自己投資

株主還元方法の選択肢

- ▶ 金額安定配当⇒**総合還元方式**(配当+自己株式買入)
- ▶ 配当性向20%以上(平成18年3月期予想:25%)
- ▶ 平成17年3月期配当実績 6円⇒12円へ倍増

株主重視の経営 ～株主への収益還元策～



大手銀行で唯一
配当性向20%以上をコミット(=お約束)

▶平成17年3月期 配当実績ベースでの配当利回り比較

大手銀行中トップの
配当利回り

銀行名	配当金額(*)	連結配当性向	配当利回り
住友信託銀行	12円	21%	1.77%
三菱東京FG	6円		0.64%
みずほFG	3.5円		0.68%
UFJ HD	-		-
三井住友FG	3円		0.40%
三井トラスト	2.5円		0.22%

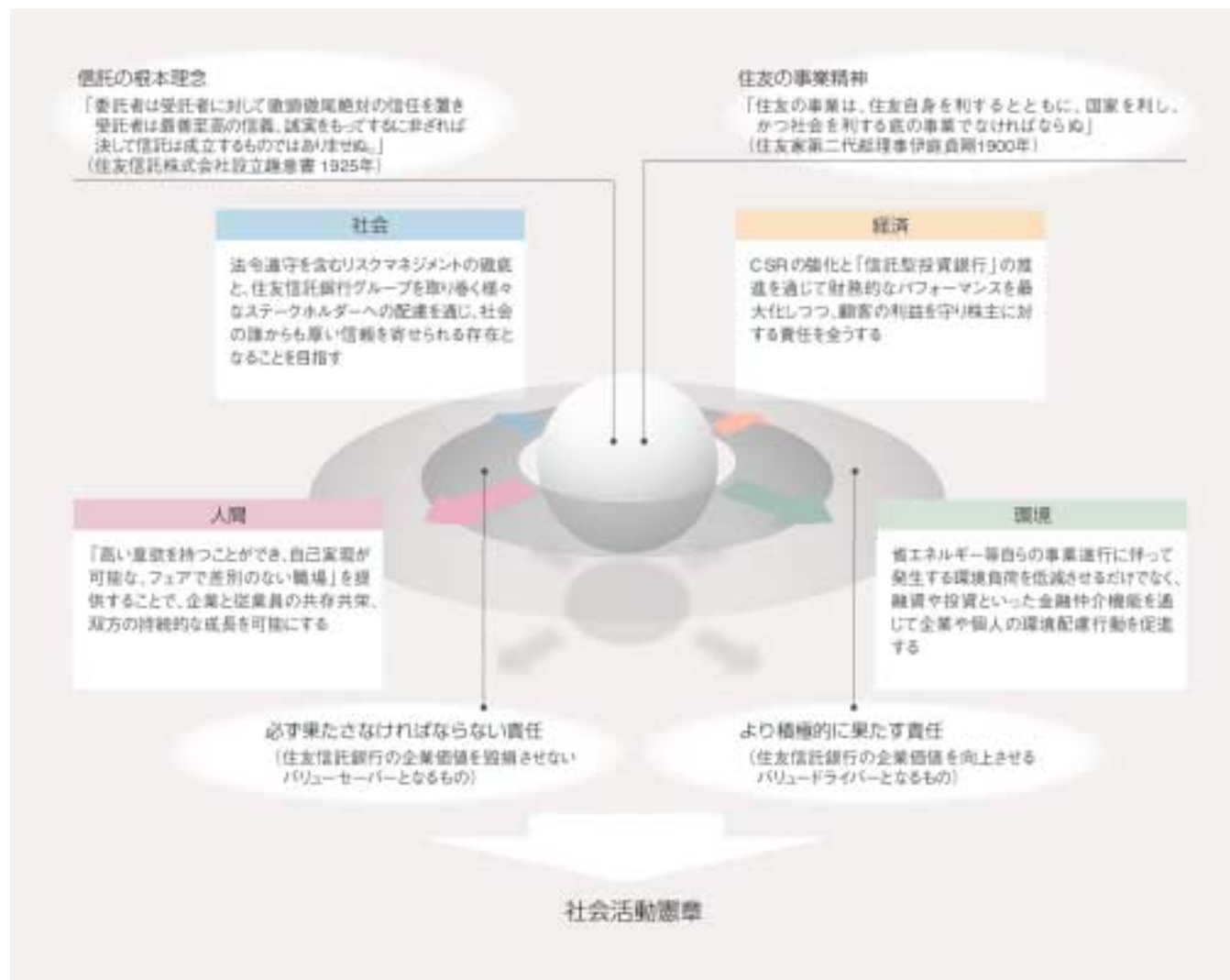
(*)額面50円換算

出所:会社資料、Bloomberg

住信CSR五原則

CSRは

- 1 経営理念に基づく「戦略」である
- 2 将来を先取りした「投資」である
- 3 慈善事業ではなく「業務」である
- 4 他行との差別化につなげる「起業」である
- 5 新しい時代にふさわしい企業「風土」の核となるものである



<ご連絡・ご照会先>

住友信託銀行株式会社

管理部 IR 室

〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-4

電話 03-3286-8354

e-Mail rstbirnews@sumitomotrust.co.jp

住友信託銀行 個人投資家様向けウェブサイト:

▶<http://www.sumitomotrust.co.jp/IR/company/individual/index.html>

弊社のIR資料送付をご希望される方は、上記までお問い合わせください。